

## 平成29年度及び平成30年度 食育関連事業の実施状況

新規追加・拡充

★ 資料3参照

## 基本目標 I いっしょに食べよう、育もう 子どもの食習慣 &lt;子どもの健全育成&gt;

## 1 家庭における食育の推進

No.	取り組むべき施策	食育に関連する事業名等	事業の概要	実施時期・回数・人数等	担当課・行動主体
①	妊産婦や乳幼児に対する保健指導	3～4か月児健康診査	離乳食の進め方についての集団指導や栄養相談などの実施	通年 ㉙24回 655人 ㉚24回	医療機関 市(保健センター)
		すくすく相談(乳幼児クリニック)	低体重児及び未熟児等ハイリスク児への小児科専門医による診察や相談及び栄養相談の実施	通年 ㉙8回 80人 ㉚6回	
		1歳6か月児健康診査	栄養相談や保健相談などの実施	通年 ㉙24回 757人 ㉚23回	
		3歳6か月児健康診査	栄養相談や保健相談などの実施	通年 ㉙24回 743人 ㉚23回	
		もうすぐパパママ教室	食事バランスガイドを活用し、子育て世代の食生活について普及・啓発	通年 ㉙9回 父128人 母130人 ㉚10回	
		育児相談	乳幼児を対象とした栄養相談の実施	通年 ㉙12回 593人 ㉚12回	
		離乳食実習(もぐもぐ教室)	離乳食初期の乳児を持つ親を対象とした講義と、離乳食実習の実施	通年 ㉙12回 177人 ㉚12回	
		わくわく広場	心身の発達などに心配のある子どもを対象とした、おやつや遊びなどを通じての小集団指導を実施	通年 ㉙10回 79人 ㉚10回	
		わんぱく広場(要観察児教室)	就学を控えた4・5歳児発達障害要観察児に対して、おやつや遊びなどを通じての小集団指導を実施	通年 ㉙6回 77人 ㉚6回	
		むし歯予防教室	おやつのとり方や生活習慣についての集団指導、歯科診察、フッ素塗布、個別相談などの実施	通年 ㉙36回 1441人 ㉚36回	
②	望ましい食習慣や知識の習得	「早寝早起き朝ごはん」リーフレットの配布	文科省発行の基本的な生活習慣づくりに取り組むことを目的としたリーフレットを小学校新1年生に配付	4月 ㉙1回 ㉚1回	市(生涯学習・スポーツ課)
		おやこの食育教室	園児や小学生の子どもとその親を対象として、食育に関する講義や郷土料理の料理講習会を実施	通年 ㉙1回 9人 ㉚1回	(財)日本食生活協会 富山県食生活改善連絡推進協議会
		三世代ふれあいクッキングセミナー	食を通じて三世代の交流を推進するとともに、各年代の健康づくりのための食事について学ぶためのクッキングセミナーを実施	通年 ㉙7回 371人 ㉚7回	射水市食生活改善推進協議会 市(保健センター)
		栄養ボードと給食サンプルの展示	家庭における食への関心を深めるため、栄養ボードと様々な食材を使った保育園給食を紹介。	通年 ㉙㉚全保育園	保育園、市(子育て支援課)
③	子どもの生活リズムの向上	早寝早起き朝ごはん運動の実施	小・中学校の児童生徒の生活習慣の振り返りと改善を促すため、各学校で実施	通年 ㉙定期	学校給食センター、幼稚園、小・中学校、市(学校教育課) 保育園、市(子育て支援課)
		食育だよりの配付	正しい食習慣に関する情報を保護者へ伝えるため、保育園や幼稚園において「食育だよりの配付」や「給食だよりの配付」	通年 ㉙定期	
		保健だよりの配付	小・中学校の児童生徒自身や各家庭における健康への関心を促すため、各学校で配付	通年 ㉙定期	

No.	取り組むべき施策	食育に関連する事業名等	事業の概要	実施時期・回数・人数等	担当課・行動主体
④	肥満予防の推進	特定健康診査の実施	40歳以上の被保険者を対象として、生活習慣病の前段階であるメタボリックシンドロームに着目した健康診査を実施	6～10月 対象者 ⑳15,436人	医療機関、市 (保険年金課)
		特定保健指導(動機付け支援・積極的支援)の実施	特定健康診査の結果をもとに、リスクの高い該当者を対象として、専門スタッフによる生活習慣病改善に向けた個々のプログラムによる健康づくりのサポート	10月～翌年9月 対象者 ⑳778人	
		若年健診(35～39歳の健康診査)の実施	若年者に受診の機会を提供することにより、早期の受診意識啓発を行うとともに、必要に応じ保健指導を実施し、生活習慣の改善及び健康意識の向上を図る。	8～9月 対象者 ⑳603人	
		服薬コントロール不良者等訪問指導の実施	特定健康診査の結果に基づく、血圧・血糖・脂質の服薬コントロール不良者、非肥満者(非メタボ)の受診勧奨域者について、生活習慣の改善等の保健指導を行うことにより、被保険者の健康管理の徹底を図り、生活習慣病の重症化を予防する。	通年 対象者 ⑳726人	
		小児生活習慣病予防検診の実施	小学校4年生を対象に血液検査等を行い、結果に基づき食生活等の健康指導を実施	9月～11月 ⑳930人 ⑳880人	
⑤	家族だんらの推進	「食育の日」の啓発	食生活改善推進員によって「毎月19日は食育の日」として家族揃って食事をとるようチラシ入りティッシュを配布し啓発	通年 ⑳随時 1000人 ⑳随時 1000人	射水市食生活改善推進協議会
		「食育だより」の配付【再掲: 1-③】	各保育園から配付する「食育だより」「献立カレンダー」などを通じ「毎月19日は食育の日」を啓発	通年 ⑳⑳定期	保育園、市(子育て支援課)
		あったか家族応援プロジェクト	子育て井戸端会議で家庭教育リーフレット「あったか家族3つのポイント」を配布し説明を行ったり、小学1年生の保護者に対しては、「早寝早起き朝ごはん」の冊子を配布し、食を通じた家族とのコミュニケーションや望ましい食習慣の実践の大切さを伝える。	通年 ⑳1,494人 ⑳1,455人	市(生涯学習・スポーツ課) 家庭教育アドバイザー連絡協議会
		あったか家族応援プロジェクト	「あったか家族応援DAY 夏休み家族で夏野菜カレーを作ろう」キャンペーンを実施する。内容は、店内にカレーの材料を集めたコーナーにPOPを掲示し、家族いっしょに食事を作ったり、食べたりする家族とのだんらの大切さを普及・啓発する。	⑳期間 H30.8.8～8.22	市(生涯学習・スポーツ課) アルビス(株)
		あったか家族応援プロジェクト	あったか家族の普及・啓発のため、射水青年会議所が中心となり、市内小学生から募集した、あったか家族応援標語をもとに、食育を含む寸劇(7作品)を作成し、射水ケーブルテレビで放送し、インターネット(YouTube)で配信している。	⑳期間 H30.4～放送	射水青年会議所、市(学校教育課)
⑥	家庭における手作り料理の推進	CATV番組「ばくばくクッキング」の放映	⑳「もったいないを減らそう!(食品ロス削減)」をテーマに、簡単メニューを紹介する番組の作成及び放映 ㉑「具だくさんの汁物でバランスよく」をテーマに、簡単メニューを紹介する番組の作成及び放映	6・9・12・3月 ⑳4回 ⑳4回	市(保健センター)
		広報「いみず」にレシピ掲載	広報「いみず」に毎月『食生活改善推進員のおすすめレシピ』を掲載。	毎月 ⑳12回 ⑳12回	市(未来創造課、保健センター) 射水市食生活改善推進協議会
⑦	家庭における郷土料理や伝統料理の実践	富山型食生活普及推進事業(いきいきとやま食育クッキング)	地域の食文化や栄養バランスのよい料理を普及するため、旬の地場産食材を使用した郷土料理の調理実習等を実施	6月～1月 ⑳4回 280人 ⑳3回	富山県食生活改善連絡推進協議会、射水市食生活改善推進協議会
		おやこの食育教室【再掲: 1-②】	園児や小学生の子とその親を対象に、食育についての講義や郷土料理の紹介、料理講習会を実施【再掲: 1-②】	6月～1月 ⑳1回 9人 ⑳1回	(財)日本食生活協会、射水市食生活改善推進協議会
		郷土料理や伝統料理の実施	保育園において郷土料理や伝統料理を取り入れて提供。「献立だより」を通じて啓発。	通年 ⑳定期	保育園、市(子育て支援課)
⑧	よく噛む習慣の定着	カミカミメニューの実施	献立に歯ごたえのあるメニューを週1～2回取り入れ、噛むことを指導。また、「食育だより」を通じてよく噛むことの効果を啓発	6月 ⑳⑳全保育園	保育園、市(子育て支援課)
		むし歯予防教室【再掲: 1-①】	おやつのとりのり方や生活習慣についての集団指導、歯科診察、フッ素塗布、個別相談などの実施【再掲: 1-①】	通年 ⑳36回 1441人 ⑳36回	市(保健センター)
⑨	子どもの食事マナーの習得	学校給食通じた指導	給食時の学校放送や学級活動を通じたマナーの啓発	通年 ⑳⑳随時	小・中学校、市(学校教育課)
		「食育だより」の配付【再掲: 1-③】	各保育園から配付する「食育だより」などを通じた、手洗いや望ましい食べ方、箸の持ち方など食事マナーの啓発	通年 ⑳噛むことの効果 手洗い 箸の持ち方 食事のあいさつ 座って食べる	保育園、市(子育て支援課)
⑩	食べ物に対する感謝の念の醸成	ふれあい農園の運営	農産物を栽培しながら食材に対する理解を深めるとともに、周辺農業者及び市民相互の交流を図る施設の運営	通年 ⑳58/58区画 ⑳58/58区画	NPO法人下村スポーツクラブまいけ、市(農林水産課)

## 2 学校、保育園等における食育の推進

No.	取り組むべき施策	食育に関連する事業名等	事業の概要	実施時期・回数・人数等	担当課・行動主体
①	教育活動における食育の推進	食育講座、給食参観の実施	年間食育計画に基づき、栄養と食材に関する「食育講座」や保護者と一緒に給食を食べる「給食参観」などを実施	通年 ㉙㉚定期	保育園、市(子育て支援課)
		食事マナーの指導	給食時における手洗いの方法やあいさつ、配膳の仕方や箸の持ち方などを指導	通年 ㉙㉚随時	
		栄養教諭、栄養職員による指導	食に関する年間指導計画に基づき、各教科や総合的な学習の時間などを利用して、旬の食材の紹介や望ましい食生活と食事マナーなどを指導	通年 ㉙㉚随時	小・中学校、市(学校教育課)
②	食に関する体験活動の推進	保育園における家庭菜園体験	食に興味を持つきっかけづくりとして、園児が野菜の栽培や収穫、調理を体験	通年 ㉙㉚随時	保育園、市(子育て支援課)
		小・中学校における農業体験	バケツ稲や田んぼでの田植えのほか、各学校の菜園などにおいて、地域の農業者等から指導を受けながら農作業を体験	通年 ㉙㉚随時	幼稚園、小・中学校
		稚魚中間育成及び放流事業	育てる漁業や地域の食材への理解を深めってもらうため、幼児・児童がアユやトラフグ等の稚魚放流を体験	4月～9月 ㉙㉚2校(大門小、八幡保育園)	小学校、市(農林水産課)
		サクラマスリレー	サクラマスを自分たちの手で飼育することによって自然環境を考えることを目的に大門小学校、堀岡小学校で行う。	通年 ㉙大門小・堀岡小	市(農林水産課)
		サクラマス陸上養殖	サクラマスを自分たちの手で飼育することによって自然環境を考えることを目的に堀岡小学校、放生津小学校で行う。	通年 ㉚堀岡小、放生津小	市(農林水産課)
		未来につなぐ「農」と「食」普及啓発事業	食に関わる人々の様々な活動への理解を深め地場産食材の良さを認識してもらうことを目的に、農業体験活動等を実施し、子どもと地域住民と一緒に、一連の農作業、調理等を体験	通年 ㉙23回 ㉚随時	市(農林水産課)
③	学校給食における食育の推進	食事マナーの習得	栄養教諭や栄養職員による指導のほか、給食時の学校放送などを通じた食事マナーの習得	通年 ㉙㉚随時	幼稚園、小・中学校、学校給食センター、市(学校教育課)
		学校給食を通じた指導	栄養教諭や栄養職員が中心となり、学校給食センターから給食を受配する学校と自校で給食を調理する学校のそれぞれに対応した指導体制のもと、各学校の食に関する年間指導計画に基づき学校給食を通じた指導を実施	通年 ㉙㉚随時	
		豊かで魅力ある学校給食の運営	学校長や給食主任、PTAの代表者などで組織する学校給食運営委員会と栄養職員や調理員などで組織する学校給食研究会において、食材や献立などについて協議を行い、学校給食センターや各学校のそれぞれが豊かで魅力のある給食を実施	通年 ㉙㉚随時	
		★ 全国学校給食週間事業	学校給食の意義、役割等について児童生徒や教職員、保護者等の理解と関心を高め、学校給食の一層の充実と発展を図ることを目的に、「北陸三県味めぐりの旅」をテーマに特別献立を実施、また、給食作品の募集を実施した。	1月 ㉙1/24～1/30	
④	地場産食材の活用	★ 「射水きときとの日」の実施	保育園において毎月「射水きときとの日」を設定し、旬の地場産食材を給食に使用	通年 ㉙25回 ㉚24回	保育園、市(子育て支援課)
		★ 地場産食材利用の加工食品提供	地元の食材を使ったりんごゼリーや里芋コロケ、小松菜ギョウザなどを業者に製造依頼し給食に使用	通年 ㉙16回 ㉚24回	
		★ 学校給食向け県産食材活用拡大プロジェクト	幼稚園や小・中学校において、地元の食材に対する知識や理解を深めるため「射水食材の日」を設定し、地場産野菜等を活用した特別給食を実施	通年 ㉙4回	農林水産業関係団体、市(農林水産課、学校教育課)、学校給食センター、幼稚園、小・中学校
		6市連携地場産献立「呉西(ゴーセイ)な日!!」	圏域内の農林水産物(以下、「地場産物」という。)を使った共通の献立を学校給食で提供し、共通の献立名は、分かりやすく親しみが持てるよう、とやま呉西圏域の「呉西」と特別感をだす「豪勢」をかけ、「呉西(ゴーセイ)な日!!」とする。 子供が口にするものに保護者は興味を持っており、学校給食に使用されることで、子供のみならず保護者も地場産物に興味を抱くようになり、現時点及び子供が成長した後の将来的な地場産物の消費拡大につながる事が期待される。 また、地場産物一つ一つの印象は大きなものではないが、6市において「呉西(ゴーセイ)な日!!」を提供することで一体感と特別感をだし、より大きな印象、波及効果をねらう。 ブランドの育成につながる土壌を育むとともに、圏域の消費の定着化を図りたい。	㉚11月中	とやま呉西圏域連携事業「呉西圏域ブランド育成事業」、市(農林水産課)

基本目標Ⅱ


みずから知ろう、実践しよう 食で健康生活 <健康に過ごす人生>

3 市民食育推進運動の展開

No.	取り組むべき施策	食育に関連する事業名等	事業の概要	実施時期・回数・人数等		担当課・行動主体
①	「食育月間」及び「食育の日」における食育の推進	「食育の日」の啓発【再掲：1-⑤】	食生活改善推進員によって「毎月19日は食育の日」として家族揃って食事をとるようチラシ入りティッシュを配布し啓発【再掲：1-⑤】	通年	資料3参照	射水市食生活改善推進協議会
		農業産業まつりの開催	市の農業・産業の持続的な発展を目的として、JAいみず野、射水商工会議所、射水市商工会からの出店のほか、ステージイベントなどを実施（射水市農業産業まつり実行委員会が実施）	11月	㉙1回 10,000人 ㉚1回	農林水産業関係団体、食品関連事業者、市（農林水産課）
		「食育だより」の配付【再掲：1-⑤】	各保育園から配付する「食育だより」「献立カレンダー」などを通じ「毎月19日は食育の日」を啓発【再掲：1-⑤】	通年	㉙㉚定期	保育園、市（子育て支援課）
②	各種団体との連携・協力体制の確立	射水市食育推進会議の開催	食育の推進に関係が深い関係諸団体との連携を図り、射水市食育推進会議の開催を通じネットワークを構築	1月	㉙㉚1回	市（保健センター）
		食生活改善推進協議会との連携	生活習慣病予防のための食生活をテーマとした講義や調理実習を行う伝達講習会や、地域ニーズに則した各種の料理教室などを行う地域食育講習会を開催	通年	㉙伝達講習 22回 地域食育講習 32回 ㉚伝達講習 22回 地域食育講習 30回	市（保健センター）
		射水市地場産食材活用推進協議会の運営	学校栄養士、教育委員会、いみず野農業協同組合、富山県高岡農林振興センター、市農林水産課で構成し、学校給食への地場産食材の活用を検討	5月	㉙1回 ㉚廃止	市（農林水産課）
③	食育推進への理解の増進	ホームページの作成、公表	射水市ホームページで射水市食育推進計画の内容を周知	通年	㉙㉚随時	市（保健センター）
		広報誌による周知	食育月間に合わせて食育に関する記事を掲載	通年	㉙㉚随時	
④	各種イベントにおける食育の普及・啓発活動の推進	農業産業まつりの開催【再掲：3-①】	市の農業・産業の持続的な発展を目的として、JAいみず野、射水商工会議所、射水市商工会からの出店のほか、ステージイベントなどを実施（射水市農業産業まつり実行委員会が実施）	11月	㉙1回 10,000人 ㉚1回	農林水産業関係団体、食品関連事業者、市（農林水産課）
		「子どもの食育」の寸劇	射水市男女共同参画推進委員が来場者を対象に食育に関する寸劇を実施	7月 9月	㉙「子育てフェスティバルinみず」 「女と男のパートナー会議」	射水市男女共同参画推進委員会（地域振興・文化課）
		親子の料理コンクールの開催	射水市男女共同参画推進委員会が、射水市在住・在勤の親子を対象とした親子で作る料理コンクールを実施	11月	㉙1回 4組11名 ㉚1回	射水市男女共同参画推進委員会（地域振興・文化課）
⑤	「日本型食生活」の実践	富山型食生活普及推進事業（いきいきとやま食育クッキング）【再掲：1-⑦】	地域の食文化や栄養バランスのよい料理を普及するため、旬の地場産食材を使用した郷土料理の調理実習等を実施【再掲：1-⑦】	7月～ 11月	㉙4回 280人 ㉚3回	富山県食生活改善連絡推進協議会、射水市食生活改善推進協議会

No.	取り組むべき施策	食育に関連する事業名等	事業の概要	実施時期・回数・人数等	担当課・行動主体
⑥	「食事バランスガイド」の活用促進	栄養教室(食生活改善推進員養成講座)の開催	正しい食事バランスの理解を図る教材として食事バランスガイドを利用した食生活改善推進員の養成と養成後の普及・啓発	5月～2月 ㉙11回 122人 ㉚11回	市(保健センター)
		ヘルスポランティア養成講座の開催	ヘルスポランティア養成講座において、食事バランスガイドを参考に、栄養バランスのとれた食生活について普及・啓発	7月・12月 ㉙2回 44人 ㉚2回	
		もうすぐパパママ教室の開催【再掲:1-①】	食事バランスガイドを活用し、子育て世代の食生活について普及・啓発【再掲:1-①】	通年 ㉙9回 父128人 母130人 ㉚10回	
		脂肪バイバイ教室の開催(健康教育)	生活習慣病予防を目標に、食事バランスガイドを参考にした、栄養バランスのとれた食生活について普及・啓発	6～7月 ㉙2回1コース 延51人 ㉚2回1コース 延31人	
⑦	ライフステージに応じた健康な食生活を学ぶ機会の提供	市政出前講座	食事と健康との関わりをテーマとした出前講座の実施	通年 ㉙10回 297人 ㉚随時	市(未来創造課、保健センター)
		伝達講習会、地域食育講習会の開催【再掲:3-②】	生活習慣病予防のための食生活をテーマとした講義や調理実習を行う伝達講習会や、地域ニーズに則した各種の料理教室などを行う地域食育講習会を開催【再掲:3-②】	通年 ㉙伝達講習 22回 地域食育講習 32回 ㉚伝達講習 22回 地域食育講習 30回	射水市食生活改善推進協議会、市(保健センター)
		健康教育	生活習慣改善の意識を高めることを目的として、生活習慣病予防や健康づくり、精神保健についての正しい知識を普及	通年 ㉙㉚随時	市(保健センター)
		健康相談	家庭における健康管理に資することを目的として、心身の健康について必要な保健指導と栄養指導を実施	通年 ㉙230回 599人 ㉚随時	
		訪問指導	保健指導や栄養指導が必要と思われる人とその家族に対し、生活習慣病予防のための訪問による個別指導を実施	通年 ㉙323人 ㉚随時	
		健康づくり食生活改善実践講習会	「減塩」と「野菜もう1皿」を重点テーマとして家庭訪問で塩分チェックとアンケート調査を行い、パンフレット等を活用して減塩・野菜摂取の普及啓発を行う。	7月～1月 ㉙㉚各地区	富山県食生活改善連絡推進協議会、射水市食生活改善推進協議会
		三世代ふれあいクッキングセミナー【再掲:1-②】	食を通じて三世代の交流を推進するとともに、各年代の健康づくりのための食事について学ぶためのクッキングセミナーを実施【再掲:1-②】	7月～12月 ㉙7回 371人 ㉚7回	
		生涯骨太クッキング～ロコモチェックでロコモ予防～	高齢者を対象に、乳製品を使用した調理実習を通してロコモティブシンドロームの予防活動の普及	12月 ㉙1回 15人 ㉚1回	(財)日本食生活協会、射水市食生活改善推進協議会
		男性のための料理教室	30歳以上の男性を対象に、自らの健康に関心を持つことができるよう料理講習会を実施	11月 ㉙1回 9人	
		やさしい在宅介護食教室	高齢者の低栄養や認知症を予防するとともに、食事介護の知識について学ぶための教室を実施	8月～12月 ㉚1回	
		生活習慣病予防のための減塩推進スキルアップ事業	若者世代、成人・高齢者世代を対象に、食事のバランスや減塩・肥満予防等、世代別に生活習慣病予防について講義や調理実習を実施	11月 ㉙2回 49人 ㉚3回	
		通所型介護予防事業	地域包括支援センターへの委託事業 要介護状態の発生をできる限り予防するため、運動、栄養、口腔機能の改善等を内容とした介護予防教室の実施。(栄養士・歯科医師・歯科衛生士による講義や実技等含む)	通年 ㉙10～12回1コース/5コース	地域包括支援センター、市(地域福祉課)
介護予防きときと倶楽部	地域包括支援センターへの委託事業 高齢者を対象に、介護予防や地域のネットワークづくりを目的とした介護予防教室の実施。(栄養士・歯科医師・歯科衛生士による講義や実技等含む)	通年 ㉚5～8回1コース/5コース			
⑧	ボランティアなどの人材育成	栄養教室(食生活改善推進員養成講座)の開催【再掲:3-⑦】	生活習慣病の予防や健康づくりを広く地域に普及し、食生活を通して市民の健康の保持増進を図る、食生活改善推進員を養成するための栄養教室を開催【再掲:3-⑦】	5月～2月 ㉙11回 122人 ㉚11回	市(保健センター)

## 4 地域における食育の推進

No.	取り組むべき施策	食育に関連する事業名等	事業の概要	実施時期・回数・人数等	担当課・行動主体
①	ボランティア等による食育の推進	「とやま食の匠」派遣制度の活用	富山県が実施している「とやま食の匠」派遣制度等の周知及び活用	通年 ⑳17個人、2団体登録 ㉑18個人、2団体登録	市(農林水産課)
		伝達講習会、地域食育講習会の開催【再掲:3-②】	生活習慣病予防のための食生活をテーマとした講義や調理実習を行う伝達講習会や、地域ニーズに則した各種の料理教室などを行う地域食育講習会を開催	通年 ⑳伝達講習 22回 ㉑地域食育講習 32回 ㉒伝達講習 22回	射水市食生活改善推進協議会、市(保健セン)
		富山型食生活普及推進事業(いきいきとやま食育クッキング)【再掲:1-⑦】	地域の食文化や栄養バランスのよい料理を普及するため、旬の地場産食材を使用した郷土料理の調理実習を実施【再掲:1-⑦】	7月～11月 ⑳4回 280人 ㉑3回	富山県食生活改善連絡推進協議会、射水市食生活改善推進協議会
		三世代ふれあいクッキングセミナー【再掲:1-②】	食を通じて三世代の交流を推進するとともに、各年代の健康づくりのための食事について学ぶためのクッキングセミナーを実施【再掲:1-②】	7月～12月 ⑳7回 371人 ㉑7回	
		おやこの食育教室【再掲:1-②】	園児や小学生の子どもとその親を対象として、食育に関する講義や郷土料理の料理講習会を実施【再掲:1-②】	1月 ⑳1回 9人 ㉑1回	
		生涯骨太クッキング～ロコモチェックでロコモ予防～【再掲:3-⑦】	高齢者を対象に、乳製品を使用した調理実習を通してロコモティブシンドロームの予防活動の普及【再掲:3-⑦】	12月 ⑳1回 15人 ㉑1回	(財)日本食生活協会、射水市食生活改善推進協議会
		男性のための料理教室【再掲:3-⑦】	30歳以上の男性を対象に、食生活を通じ自らの健康に関心を持つよう料理講習会を実施【再掲:3-⑦】	11月 ⑳1回 9人	
②	食に関する専門的な支援 	市政出前講座【再掲:3-⑦】	食事と健康との関わりをテーマとした出前講座の実施【再掲:3-⑦】	通年 ⑳10回 297人 ㉑随時	市(未来創造課、保健センター)
		食生活改善推進員研修会	食生活改善推進員を対象に、生活習慣病予防や介護予防につながる知識と技術を習得するための研修会を開催	4月～2月 ⑳11回 591人 ㉑11回	市(保健センター)
		子育て支援センター栄養講座	離乳食の進め方やおやつをテーマに知識の普及のためのミニ講座と個別栄養相談	通年 ⑳12回 ㉑12回	市(子育て支援課)
③	地域振興会等における食育の推進	地域振興会行事等の開催(生涯学習推進事業)	多世代が交流する農業体験、親子料理教室、おやつ作りなどを実施	通年 ⑳㉑随時	地域振興会、市(生涯学習課)
④	職場における食育の推進	健康増進計画推進事業	「元気とやま健康づくり企業」応援事業、地域職域健康づくり応援事業、企業連携健康づくり応援プロジェクトなどを実施し、働く世代への食育を推進。	通年 ⑳随時	高岡厚生センター
		健康寿命延伸事業	健康経営普及支援事業、働き盛りの健康づくり支援事業などを実施し、働く世代への食育を推進。	11月 ㉑「富山健康経営企業大賞」表彰	富山県厚生部健康課
⑤	外食等における食育の推進	健康づくり協力店事業	カロリーや栄養成分を表示したメニューの提供や禁煙対策などを行っている店舗を「健康づくり協力店」として登録	通年 ⑳射水市14店舗登録	富山県厚生部健康課、市(関係各課)
		食の健康づくり推進事業	野菜たっぷり、減塩、シニア向けの取組を行っている店舗を、「健康寿命日本一応援店」として登録	随時 ㉑射水市15店舗登録(12月末現在)	富山県厚生部健康課、市(関係各課)

## 5 食の選択力の向上及び安全性の確保

No.	取り組むべき施策	食育に関連する事業名等	事業の概要	実施時期・回数・人数等	担当課・行動主体
①	食品に関する情報の発信	栄養教室(食生活改善推進員養成講座)の開催	食生活改善推進員を養成する栄養教室において、食品の表示・規格等に関する講座を開催 講師:高岡厚生センター	1月 ㉙1回 12人 ㉚1回	市(保健センター)、高岡厚生センター
		食生活改善推進員再教育	食生活改善推進員対象の研修会において、食品の表示・規格等に関する講座を開催	7月 ㉙1回 72人 ㉚1回	市(保健センター)
		消費生活サポーター養成事業	消費生活サポーターと食品表示・食の安全などの情報を共有し、市民に対し啓発に努めた。	通年 ㉙㉚随時	市(生活安全課)
		広報誌等による情報の提供	食中毒防止の情報など、国・県からの情報をもとに、市広報誌やホームページなどを通じた情報の提供	通年 ㉙㉚随時	市(各担当課)
②	食に関する危機事案発生時の安全性の確保	広報誌等による情報の提供	国・県からの情報を基に、市広報誌やホームページ等を通じて随時情報を提供する。(鳥獣・家畜等の法定伝染病、放射能と食品等に関する情報等を市ホームページにより提供)	通年 ㉙㉚随時	市(生活安全課、農林水産課)
③	食品の安全性に関する相談体制の確立	消費生活相談の実施	相談内容の専門性から、国、県などと連携した消費生活相談における食品に関する相談等の受付	通年 ㉙㉚随時	市(生活安全課)
④	食に関するリスクコミュニケーションの充実	国、県及び関係機関との連携	国、県及び関係機関との連携による「食の安全」を含めた様々な消費生活情報を共有	通年 ㉙㉚随時	市(生活安全課)
		食品衛生協会との連携	飲食に起因する伝染病、食中毒その他の危害を防止し、安全な食品を消費者に提供するための射水、新湊の両食品衛生協会との連携	通年 ㉙㉚随時	市(保健センター)
⑤	生産・流通管理の徹底	GAPやトレーサビリティ普及への取り組み	射水市農業技術者協議会と連携し、農産物の安全性の確保と産地の信頼性の向上を図るため、市内の農業経営体に対し、GAP(リスク管理措置の記録等)やトレーサビリティ(生産、加工、流通の各履歴情報が確認できる仕組み)を普及	通年 ㉙㉚随時	射水市農業技術者協議会、市(農林水産課)
		産地情報の伝達	直売所等におけるトレーサビリティ法やJAS法(農林物資の規格化及び品質表示の適正化に関する法律)に基づく産地情報の伝達	通年 ㉙㉚随時	農林水産業関係団体
⑥	消費者への情報提供の推進	広報誌等による情報の提供【再掲:5-①】	国・県からの情報をもとに、市広報誌やホームページ等を通じた情報の提供【再掲:5-①】	通年 ㉙㉚随時	市(農林水産課)

**基本目標Ⅲ**

ずっと伝えよう、育てていこう 射水の恵みく地産地消を通じた地域の活性化

**6 地産地消の推進**

No.	取り組むべき施策	食育に関連する事業名等	事業の概要	実施時期・回数・人数等	担当課・行動主体
①	地場産食材の消費の拡大	園芸作物等特産振興	園芸特産物の集団化と共同販売体制の確立を推進するとともに、複合化による水田作経営を体質強化	通年 資料3参照	農林水産業関係団体 市(農林水産課)
		学校給食米粉食品利用助成事業	県産コシヒカリの消費を推進するため、従来の小麦粉パンに替えて米粉パンを学校給食に提供する場合に米粉と小麦粉の価格の差額を助成及び米粉パン以外の米粉食品(米粉麺等)に使用する米粉の価格と小麦粉の差額を助成	通年 ⑳㉑全小・中学校	
②	直売所及びインショップの設置	直売所等のPR	県内の直売所、インショップ情報が掲載されたパンフレットを作成し、直売所等を対象とした県産品購入ポイントなどの各種イベントの実施(県事業)及び県と連携したPR	通年 ⑳㉑随時	市(農林水産課)
③	農林水産業者との交流の推進	未来につなぐ「農」と「食」普及啓発事業【再掲:2-②】	食に関わる人々の様々な活動への理解を深め地場産食材の良さを認識してもらうことを目的に、農業体験活動等を実施し、子どもと地域住民と一緒に、一連の農作業、調理等を体験【再掲:2-②】	通年 ⑳23回 ㉑随時	農林水産業関係団体 市(農林水産課)
		都市漁村交流推進協議会との連携	都市部と漁村との交流に関する各種の課題、方策について、検討・連絡・調整を実施	通年 ⑳㉑随時	
		稚魚中間育成及び放流事業【再掲:2-②】	漁業資源保全、養殖漁業や地域の食材への理解を深めてもらうため、園児・児童がアユやトラフグ等の稚魚放流を体験【再掲:2-②】	4月～8月 ⑳㉑2校(大門小、八幡保育園)	
		水産多面的機能発揮対策事業	大門漁業協同組合において、地元小学生の親子を対象とした庄川の水環境の説明及びそこに放流する鮎の中間養殖施設を見学し、庄川の水環境保全が富山湾の水環境保全につながることを学習。	11月 ⑳下村小学校 ㉑1校	
		★ 学校給食向け県産食材活用拡大プロジェクト【再掲:2-④】	幼稚園や小・中学校において、地元の食材に対する知識や理解を深めるため「射水食材の日」を設定し、地場産野菜等を活用した特別給食を実施【再掲:2-④】	通年 ⑳4回 ㉑廃止	
		カニ学校給食の実施	地元の特産品への理解を深めるため、ベニズワイガニを市内全小学校6年生の給食時に1杯まるごと提供	10月～11月 ⑳㉑各小学校	
④	地産地消の意識の普及・啓発	直売所のPR	市内の農産物の直売所に関する情報など、市ホームページで地産地消に関する情報を提供	通年 ⑳㉑随時	市(農林水産課)
		チャレンジ農業体験	市内の小学5,6年生を対象に、農作物の定植から収穫、調理(加工)の体験を通じて、農業を身近に感じてもらうとともに、射水市農産物への理解を深める	5月～12月 ⑳4回 ㉑4回	農林水産業関係団体 市(農林水産課)
⑤	魅力的な地場産品による射水ブランドの育成	園芸ブランド産地強化事業	県の補助事業を活用し、生産拡大や経営の複合化による生産者数や産地の拡大を図るため、機械・施設の整備を支援	通年 ⑳実施事業者 ㉑実施事業者	市(農林水産課)
		近畿大学水産研究所富山実験場研究支援	効率的な養殖システムの開発、振興の支援	通年 ⑳㉑1事業	
		サクラマスPR事業	射水市の新ブランド確立と養殖漁業の振興を支援	通年 ⑳㉑1事業	
		射水ブランド商品開発支援	一次産品及び加工品の商品開発及び販路拡大の支援 ㉑BS-TBSの番組における「万葉カレイ」についてのロケ協力(6月28日)・放映(7月11日)	通年 ⑳㉑随時	市(港湾・観光課)
		★ 「いいとこ、いいもの、ギュギュッと!射水」きときといみず大漁まつり	富山県アンテナショップ「日本橋とやま館」内の和食レストラン「富山はま作」の協力のもと、射水産の特選食材を使用したランチ・ディナーを期間・数量限定で提供し、「射水の上質な食」の魅力や「豊富な天然食材」を首都圏に向けてPRした。	通年 ⑳1月22日(月)～28日(日)の1週間 ㉑1月21日(月)～27日(日)の1週間	



No.	取り組むべき施策	食育に関連する事業名等	事業の概要	実施時期・回数・人数等	担当課・行動主体
⑥	射水の旬の食材の情報発信	ホームページによる情報の提供 【再掲:6-④】	市ホームページの「新湊のさかな情報」などによる旬の食材に関する情報の提供	通年 ㉙㉚随時	市(農林水産課)
		「食育だより」、「給食だより」の配付 【再掲:1-③】	旬の食材に関する情報を伝えるため、保育園や幼稚園、小・中学校において「食育だより」や「給食だより」を配付	通年 ㉙㉚定期	保育園、幼稚園、小・中学校、市(子育て支援課、学校教育課)
⑦	★ 地場産食材の積極的な使用の推進	「射水きときとの日」の実施 【再掲:2-④】	保育園において毎月「射水きときとの日」を設定し、旬の地場産食材を給食に使用 【再掲:2-④】	通年 ㉙25回 ㉚24回	保育園、市(子育て支援課)
		地場産食材利用の加工食品提供 【再掲:2-④】	地元の食材を使ったりんごゼリーや里芋コロケ、小松菜ギョウザなどを業者に製造依頼し給食に使用 【再掲:2-④】	通年 ㉙16回 ㉚24回	
		学校給食向け県産食材活用拡大プロジェクト 【再掲:2-④】	幼稚園や小・中学校において、地元の食材に対する知識や理解を深めるため「射水食材の日」を設定し、地場産野菜等を活用した特別給食を実施 【再掲:2-④】	通年 ㉙4回 ㉚廃止	農林水産業関係団体、市(農林水産課、学校教育課)、学校給食センター、幼稚園、小・中学校
		6市連携地場産献立「呉西(ゴーセイ)な日!!」 【再掲:2-④】	圏域内の農林水産物(以下、「地場産物」という。)を使った共通の献立を学校給食で提供し、共通の献立名は、分かりやすく親しみが持てるよう、とやま呉西圏域の「呉西」と特別感をだす「豪勢」をかけ、「呉西(ゴーセイ)な日!!」とする。 子供が口にすることに保護者は興味を持っており、学校給食に使用されることで、子供のみならず保護者も地場産物に興味を抱くようになり、現時点及び子供が成長した後の将来的な地場産物の消費拡大につながることを期待される。 また、地場産物一つ一つの印象は大きなものではないが、6市において「呉西(ゴーセイ)な日!!」を提供することで一体感と特別感をだし、より大きな印象、波及効果をねらう。 ブランドの育成につながる土壌を育むとともに、圏域の消費の定着化を図りたい。	11月中	とやま呉西圏域連携事業「呉西圏域ブランド育成事業」、市(農林水産課)
		学校給食研究会、給食部会	栄養教諭、栄養職員などで組織する学校給食研究会、調理で組織する給食部会において、地場産食材を使用した献立などについて協議	通年 ㉙1回 ㉚1回	市(学校教育課)、保育園、市(子育て支援課)
⑧	バイオマスタウン構想の推進	ごみ自家処理機購入補助金	家庭から出る生ごみを堆肥化するための処理機購入費の一部を助成(電気式生ごみ処理機の購入価格(税込)の1/3又は15,000円いずれか低い額を補助)	通年 ㉙3件 ㉚随時	市(環境課)
⑨	食品廃棄の低減	—	食品加工残渣は堆肥に使用し、有効活用	通年 ㉙㉚随時	市(農林水産課)
		30・10運動の推進	市内飲食店に、30・10運動のチラシ掲示及び、コースターによる啓発協力を依頼。	通年 ㉙チラシ300枚 コースター1万枚 協力店舗数50店舗	市(環境課)
		食品ロス削減	家庭から出る食品ロスを削減するため、食品ロス削減啓発チラシを市内全戸配布する。	9月 ㉚全戸配布 32,700枚	市(環境課)
		いみず環境チャレンジ10	市内全小学校4年生について、「環境チャレンジ10」を実施し、食品ロスについても取り組んでいる。	通年 ㉙とやま環境チャレンジ10 6校 いみず環境チャレンジ10 9校	市(環境課)、富山県
		食品ロス丸ごと使いきり推進事業	小中学生とその保護者等を対象に、食品ロスの削減について学び、食材を無駄なく活用するレシピのコンテストを開催する	8月～2月 ㉚2回 計9組	県(農林水産企画課) 富山県食生活改善連絡推進協議会 射水市食生活改善推進協議会

## 7 食文化の伝承・創造

No.	取り組むべき施策	食育に関連する事業名等	事業の概要	実施時期・回数・人数等	担当課・行動主体
①	郷土料理や伝統料理の情報発信	-	市ホームページ等による情報の提供	通年 ㉙㉚随時	市(関係各課)
②	郷土料理や伝統料理の伝承	伝達講習会、地域食育講習会の開催【再掲:3-②】	生活習慣病予防のための食生活をテーマとした講義や調理実習を行う伝達講習会や、地域ニーズに則した各種の料理教室などを行う地域食育講習会を開催【再掲:3-②】	通年 ㉙伝達講習 22回 地域食育講習 32回 ㉚伝達講習 22回 地域食育講習 30回	射水市食生活改善推進協議会 市(保健センター)
		三世代ふれあいクッキングセミナー【再掲:1-②】	食を通じて三世代の交流を推進するとともに、各年代の健康づくりのための食事について学ぶためのクッキングセミナーを実施【再掲:1-②】	7月～12月 ㉙7回 371人 ㉚7回	富山県食生活改善連絡推進協議会 射水市食生活改善推進協議会
		富山型食生活普及推進事業(いきいきとやま食育クッキング)【再掲:1-⑦】	地域の食文化や栄養バランスのよい料理を普及するため、旬の地場産食材を使用した郷土料理の調理実習等を実施【再掲:1-⑦】	7月～11月 ㉙4回 280人 ㉚3回	
		「とやま食の匠」派遣制度の活用【再掲:4-①】	富山県が実施している「とやま食の匠」派遣制度等の周知及び活用【再掲:4-①】	通年 ㉙17個人、2団体登録 ㉚18個人、2団体登録	市(農林水産課)
③	地域行事等における食文化の伝承	生涯学習推進事業【再掲:4-③】	多世代が交流する農業体験、親子料理教室、行事食やおやつ作りなどを実施【再掲:4-③】	通年 ㉙㉚随時	地域振興会、市(生涯学習・スポーツ課)
④	射水ブランドによる新たな食文化の創造	「いいとこ、いいもの、ギュギュッと！射水」きときといみず大漁まつり【再掲:6-⑤】	富山県アンテナショップ「日本橋とやま館」内の和食レストラン「富山はま作」の協力のもと、射水産の特選食材を使用したランチ・ディナーを期間・数量限定で提供し、「射水の上質な食」の魅力や「豊富な天然食材」を首都圏に向けてPRした。	通年 ㉙1月22日(月)～28日(日)の1週間 ㉚1月21日(月)～27日(日)の1週間	市(港湾・観光課)